

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 44 週分・10 月 27 日～11 月 2 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの患者報告数が増加しています。

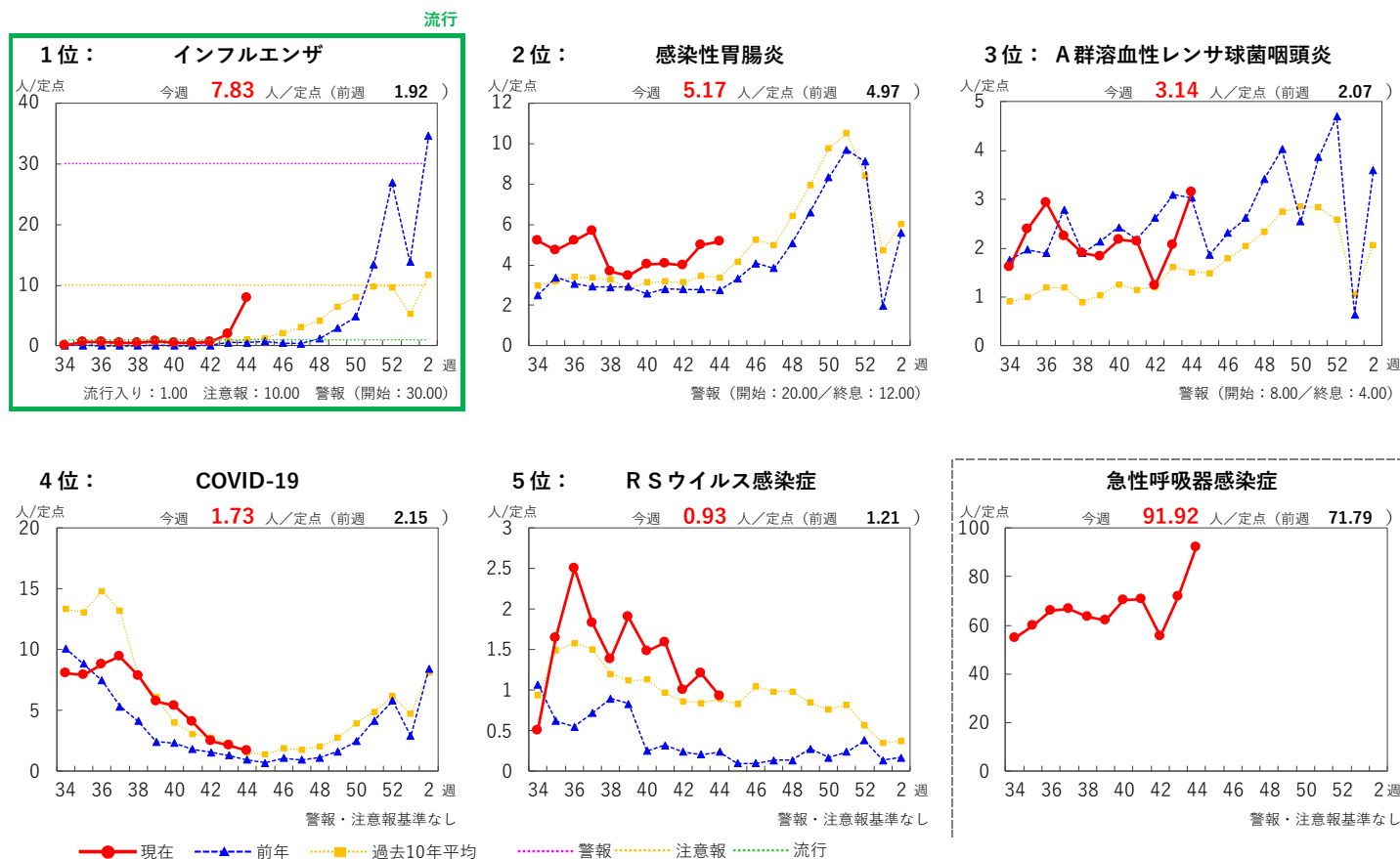
県内の患者報告数は 7.83 人/定点となり、先週（1.92 人/定点）から大幅に増加しました。手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけ、速やかにインフルエンザワクチンの接種を検討しましょう（[インフルエンザの疫学所見](#)、[第 43 週インフォメーション](#)参照）。

○感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、例年冬季に報告数が増加する傾向があります。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 44 週・10/27～11/2）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

四類感染症 レジオネラ症 1 件（60 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件（80 歳代、男性）

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（70 歳代、女性）

梅毒 1 件（30 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期）

百日咳 1 件（60 歳代、男性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）

HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

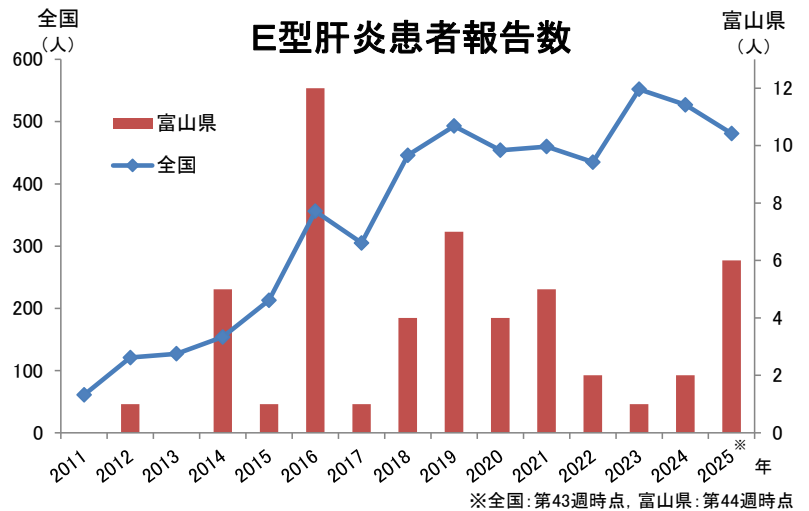


お肉はよく焼いて食べよう E 型肝炎に注意！

《 インフォメーション 》

● E 型肝炎

E 型肝炎の全国の子報告数は 2011 年以降増加傾向となり、2018 年以降は年間 450～550 件程度で推移しています。患者は 40 歳代以上の男性に多く、全体の 60%以上を占めています（[感染症年報アーカイブ](#) | [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト](#)）。今年第 43 週時点で 481 件が報告されています（図：折れ線グラフ）。なお、富山県内では今年第 44 週時点で 6 件報告されています（図：棒グラフ）。



E 型肝炎は、E 型肝炎ウイルス（HEV）の感染によって引き起こされる急性肝炎です。特に若年者では、HEV に感染しても症状が出ないことも多くあります。肝炎を発症した場合の症状は A 型肝炎に類似し、高率に黄疸を伴います。約 6 週間の潜伏期を経て、発熱、悪心・腹痛などの消化器症状、肝臓の腫大と肝機能の悪化が出現します。慢性化はせず通常は 1～6 週間で自然に改善しますが、まれに劇症化することもあります。特に、妊婦では劇症化の頻度が高いことから注意が必要です。

HEV の感染経路は主に経口感染です。海外の途上国では、患者の糞便中に排泄されたウイルスによる感染や、飲料水を介した大規模集団発生が報告されています。途上国など流行地に行く際の予防には、**飲み水に注意し、加熱不十分な食品の喫食を避けること、トイレの後や食事の前に手を洗うこと**が重要です。

国内では動物由来感染症として注目されています。推定感染経路は肉類の喫食（ブタ・シカ・イノシシなど）が大半を占めています。これらの動物は HEV に感染していることがあり、生や加熱不十分な状態で食べることで人に感染します。以下のことに注意して、E 型肝炎を予防しましょう。

- ① 調理の際、食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗う。
- ② 海外渡航先では、生水・氷・加熱不十分な食品の喫食を避ける。
- ③ 豚レバーを含む豚肉やシカ・イノシシなどの野生動物の肉は生で食べない。
内部まで十分に加熱（中心部の温度が 75℃で 1 分以上）してから食べる。
- ④ 生の肉類と加熱済みの肉類は分けて取り扱う。
調理器具や食器は「生肉用」と「加熱済みの食材用」で区別して使用する。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第44週 2025年10月27日～2025年11月2日）

分類		疾患	今週報告分（第44週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							6	2	18	13	40	79	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	11	7	26	50	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎									5		1	6	
		A型肝炎									1	1		3	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1		1	
		デング熱										1		1	
		レジオネラ症	1					1	1	1	1	3	3	16	24
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3		9	13	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症				1		1	2		1	3	4	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	4	19	36	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒					1	1	5	1	8	4	29	47	
		百日咳					1	1	29	142	147	44	275	637	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	329	353	1,580	297	1,853	4,412	8,723	7,958	30,245	7,301	37,916	92,143		
		47.00	70.60	121.54	42.43	115.81	91.92								
	インフルエンザ	16	17	165	6	172	376	972	903	1,919	1,019	2,194	7,007		
		2.29	3.40	12.69	0.86	10.75	7.83								
	COVID-19	18	3	21	16	25	83	1,621	686	1,879	1,428	1,767	7,381		
小児科定点（29定点）		2.57	0.60	1.62	2.29	1.56	1.73								
	R Sウイルス感染症	8	3	10	1	5	27	64	58	337	58	392	909		
		2.00	1.00	1.25	0.25	0.50	0.93								
	咽頭結膜熱	2		5		2	9	77	43	314	4	106	544		
		0.50		0.63		0.20	0.31								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6	32	5	44	91	159	258	1,617	210	2,239	4,483		
		1.00	2.00	4.00	1.25	4.40	3.14								
	感染性胃腸炎	31	14	18	11	76	150	1,173	706	1,511	549	4,817	8,756		
		7.75	4.67	2.25	2.75	7.60	5.17								
	水痘		4				4	10	92	59	26	299	486		
			1.33				0.14								
	手足口病							4	8	60	17	70	159		
	伝染性紅斑	3	1	1	3		8	138	328	770	155	1,231	2,622		
		0.75	0.33	0.13	0.75		0.28								
突発性発しん	1	1	2		4	8	12	25	124	32	151	344			
	0.25	0.33	0.25		0.40	0.28									
ヘルパンギーナ			1		1	2	29	54	290	62	223	658			
			0.13		0.10	0.07									
流行性耳下腺炎							3	12	7	9	27	58			
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
流行性角結膜炎							7	19	29	26	3	84			
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2		
	無菌性髄膜炎					1	1			1	1	2			
					1.00	0.20									
	マイコプラズマ肺炎				4		4	27	9	37	35	13	121		
				4.00		0.80									
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5			
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）					3	3			2	1	4	7		
	COVID-19による入院患者		1	1	1	2	5	123	112	100	150	302	787		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

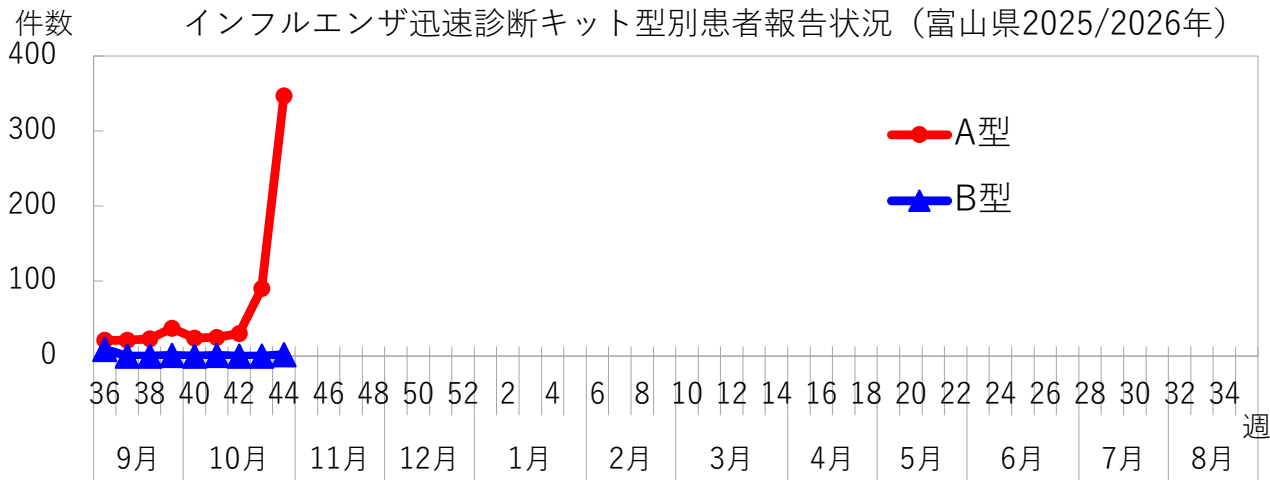
現在、下の表によると、A型が92.3%となっています。

第44週（10/27～11/2）：富山県 7.83人/定点（単位：件）

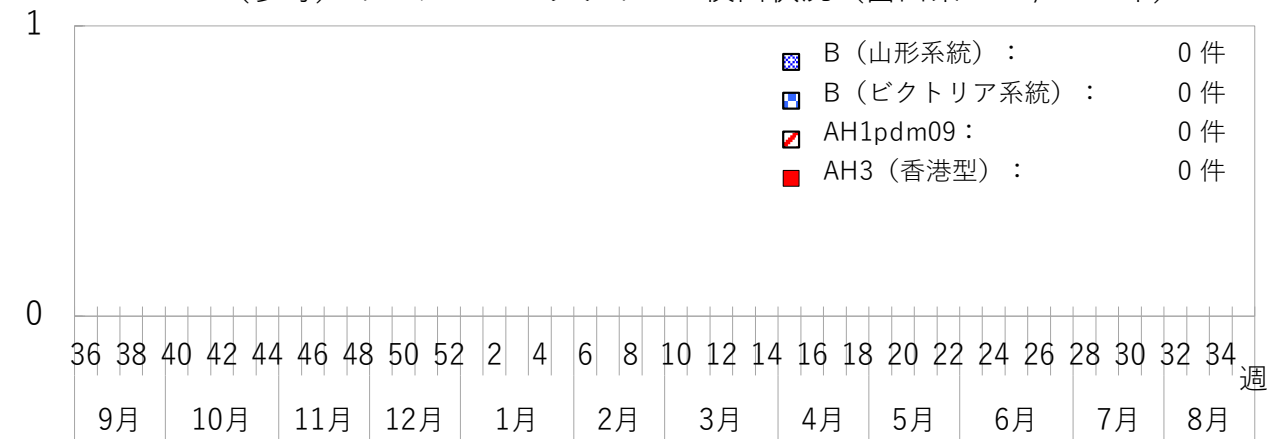
厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	16	0	0	16
中部	5 / 5	16	0	1	17
高岡	10 / 13	143	2	20	165
砺波	4 / 7	6	0	0	6
富山市	12 / 16	166	0	6	172
富山県	34 / 48※1	347	2	27	376
富山県累計（2025年36週～）		618	13	35	666

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が34か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



（参考）インフルエンザウイルス検出状況（富山県2025/2026年）

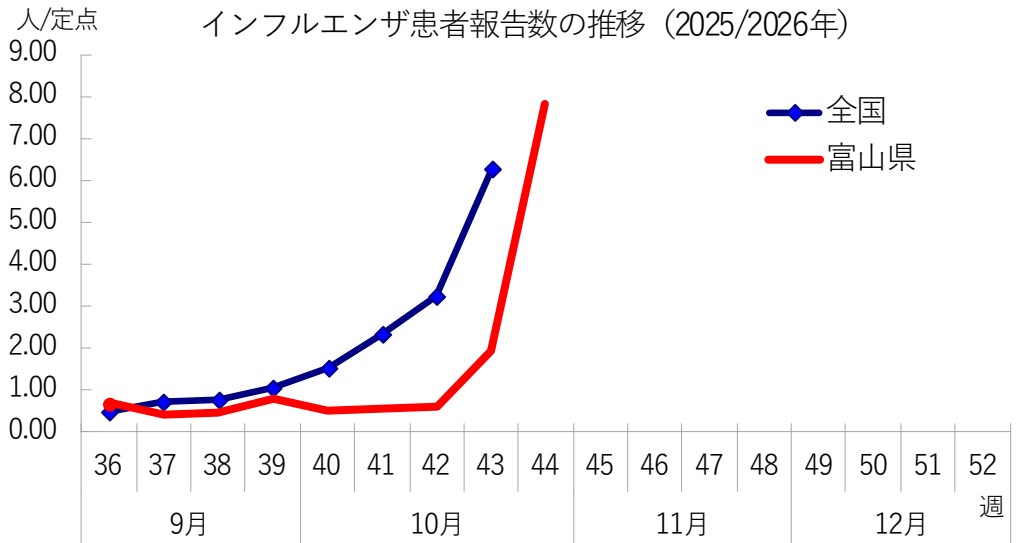


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 44 週（10/27～11/2）

富山県 7.83 人/定点 [新川 (2.29)、中部 (3.40)、高岡 (12.69)、砺波 (0.86)、富山市 (10.75)]

県内の患者報告数は今週
7.83 人/定点となり、先週
(1.92 人/定点)から大幅に
増加しました。

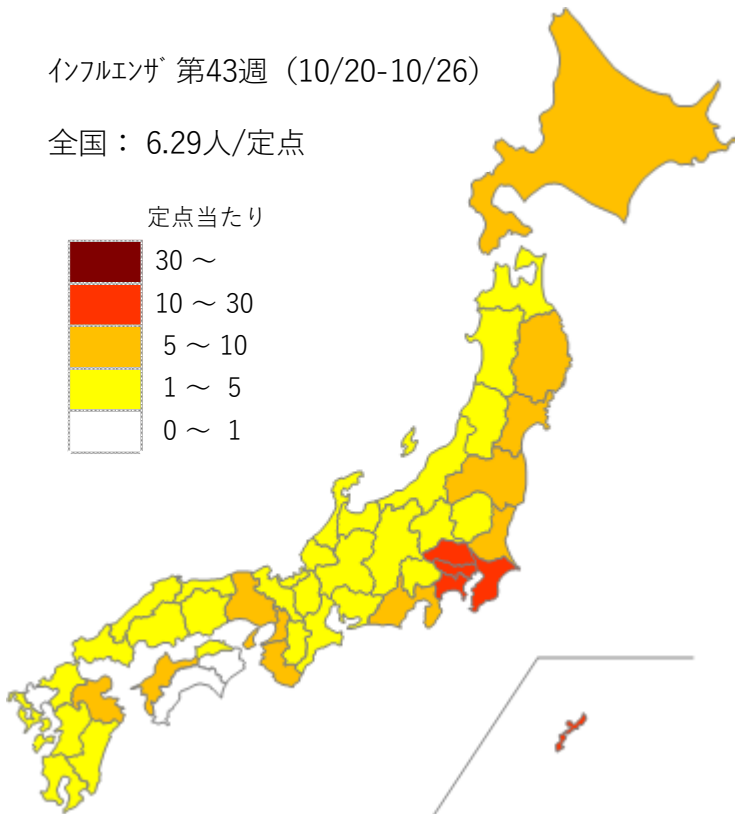
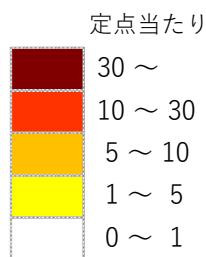


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 43 週（10/20～10/26）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 6.29 人となり、前週の 3.26 人より増加しました。44 都道府県で前週より増加しています。3 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第43週（10/20-10/26）

全国：6.29人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	8.43 ↑	滋賀県	2.79 ↑
青森県	2.19 ↑	京都府	4.49 ↑
岩手県	6.31 ↑	大阪府	5.68 ↑
宮城県	8.35 ↑	兵庫県	5.85 ↑
秋田県	3.92 ↑	奈良県	4.26 ↑
山形県	3.74 ↑	和歌山県	7.20 ↑
福島県	6.33 ↑	鳥取県	1.07 ↑
茨城県	5.43 ↑	島根県	2.80 ↓
栃木県	3.79 ↑	岡山県	2.88 ↑
群馬県	4.98 ↑	広島県	2.02 ↑
埼玉県	11.73 ↑	山口県	3.95 ↑
千葉県	11.82 ↑	徳島県	0.85 ↑
東京都	10.37 ↑	香川県	1.30 ↑
神奈川県	11.88 ↑	愛媛県	6.59 ↑
新潟県	2.05 ↑	高知県	0.61 ↑
富山県	1.92 ↑	福岡県	3.93 ↑
石川県	3.89 ↑	佐賀県	0.79 ↑
福井県	2.95 ↑	長崎県	2.24 ↓
山梨県	2.37 ↑	熊本県	2.68 ↑
長野県	1.41 ↑	大分県	6.07 ↑
岐阜県	2.13 ↑	宮崎県	1.57 ↓
静岡県	5.25 ↑	鹿児島県	2.72 ↑
愛知県	3.64 ↑	沖縄県	19.40 ↑
三重県	4.66 ↑	全国	6.29 ↑

